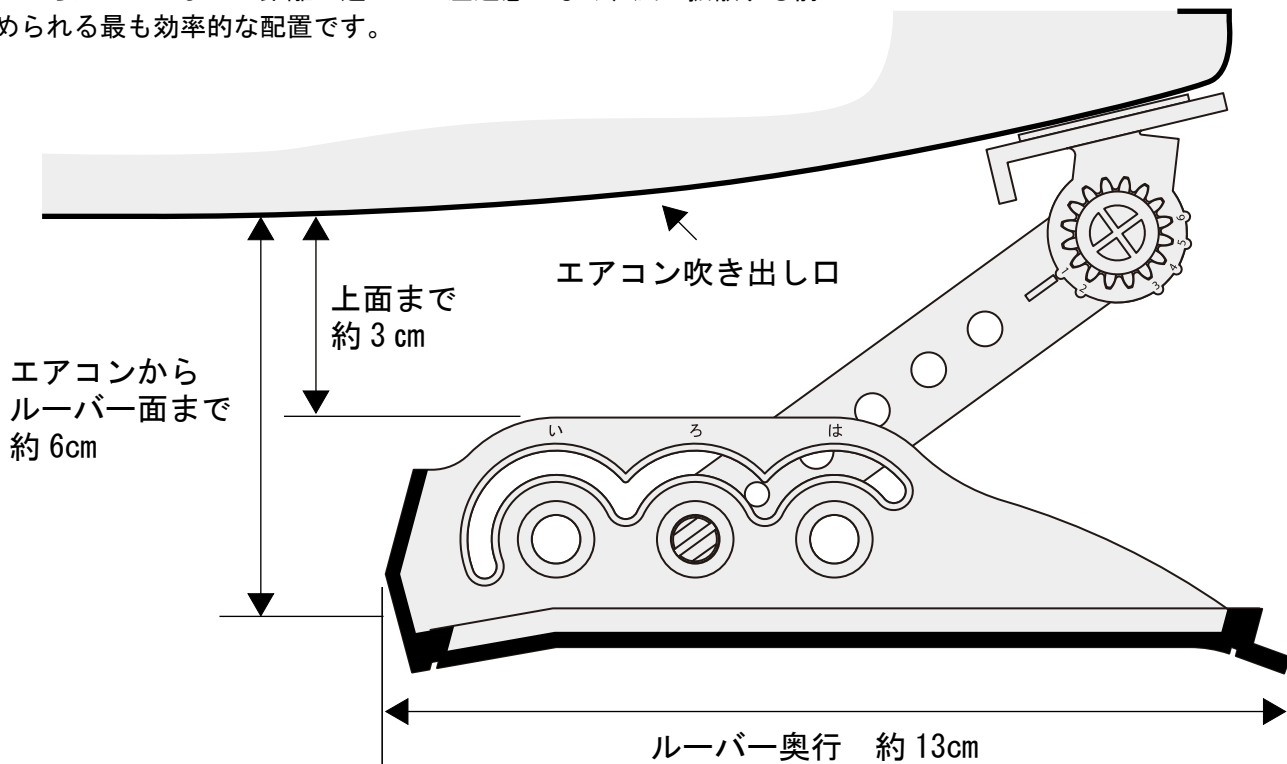


ルーバー配置図（断面図） - 標準的な羽根配置の場合

天井埋込形の例

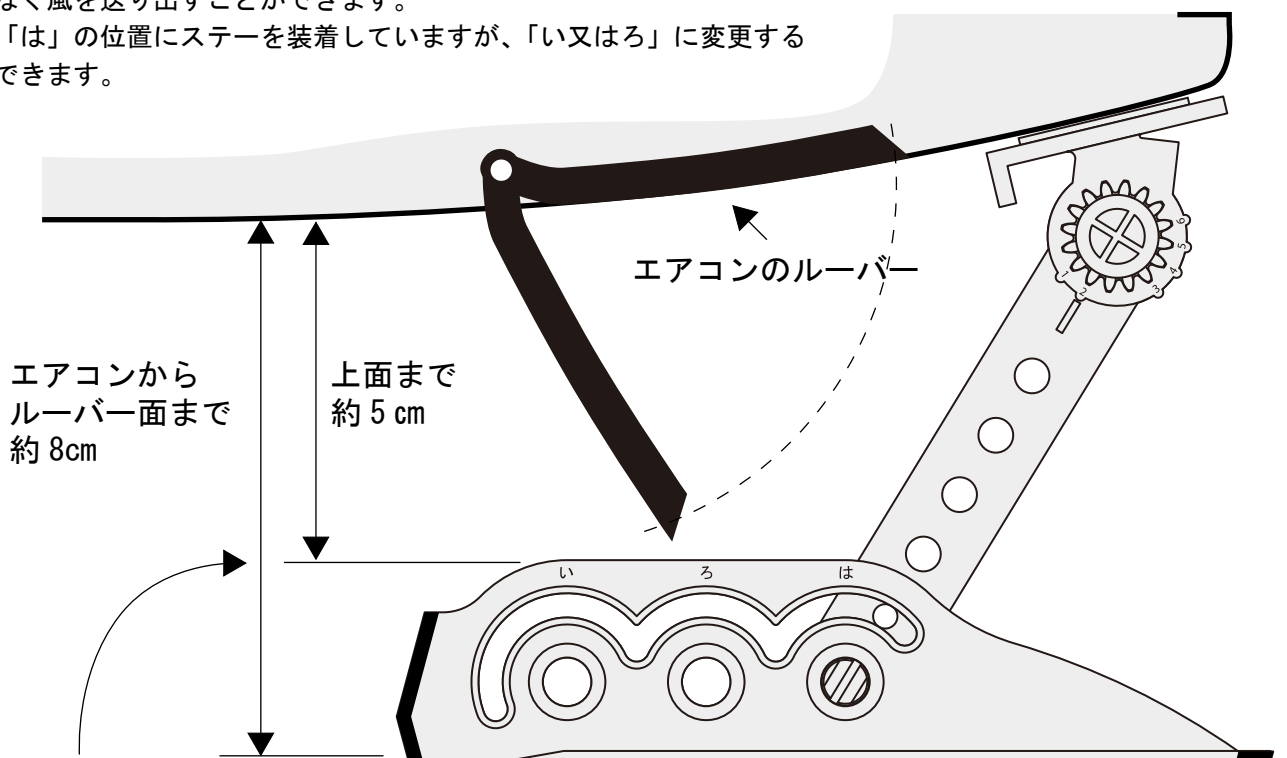
エアコンからルーバーまでの距離が近いので圧迫感がなく、風が拡散する前に受け止められる最も効率的な配置です。



エアコンのルーバーが外側へ大きく開口する機種で、上図の標準的な位置でルーバーが接触する場合は、1段下げることで取付が可能です。

エアコン側の大型ルーバーで拡散を抑制しているため、1段下げても拡散することなく風を送り出すことができます。

図では「は」の位置にステーを装着していますが、「い又はろ」に変更することもできます。

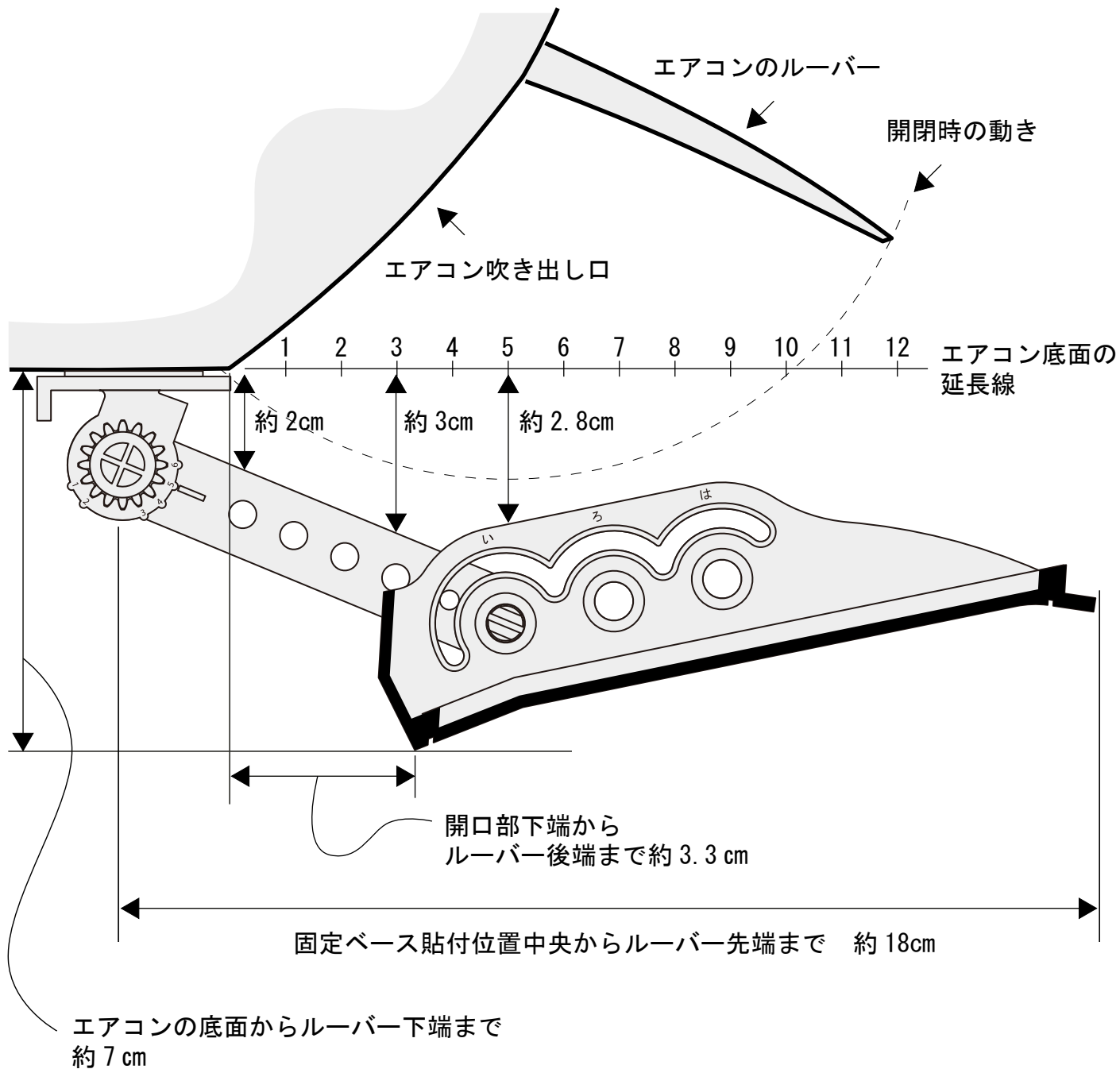


さらに1段（約1cm）下げることもできます。

ルーバー配置図（断面図） - 標準的な羽根配置の場合

壁掛形の例

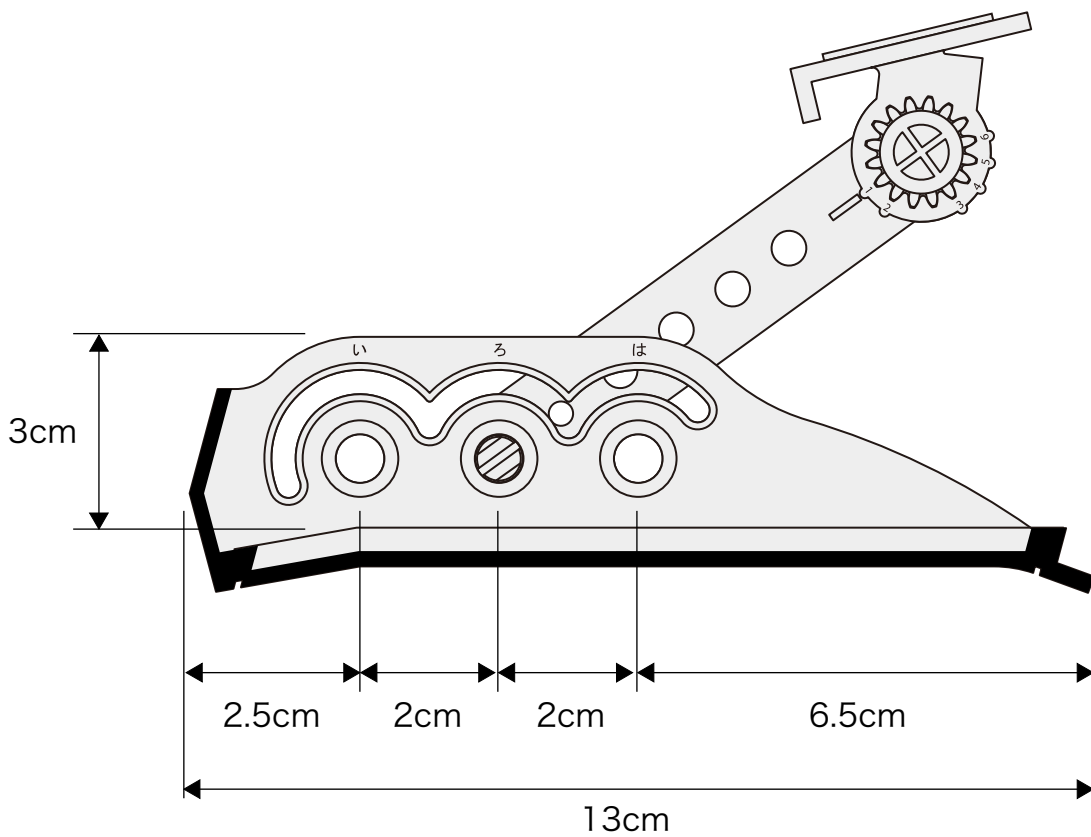
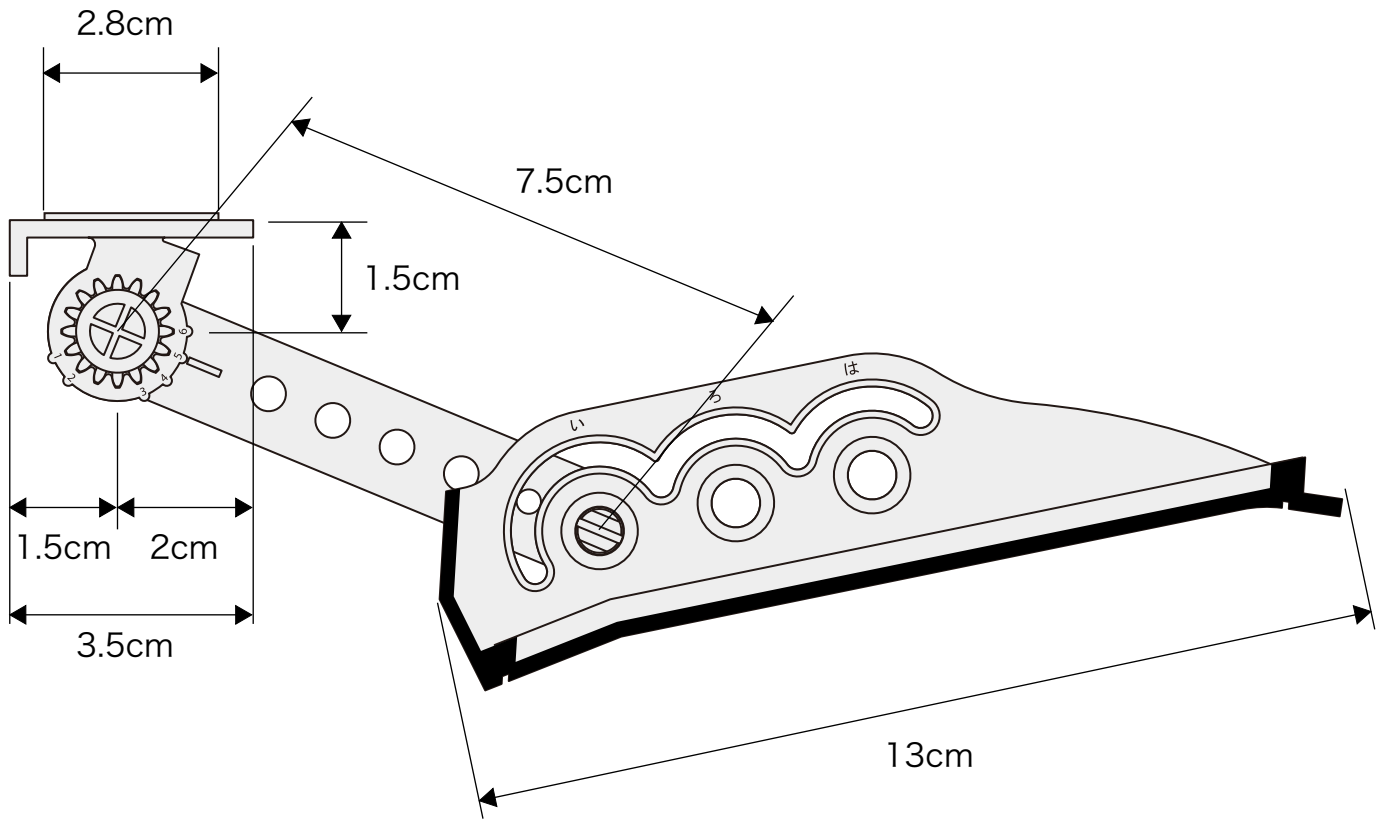
特殊な形状のルーバーや、エアコン下にカーテンレールや家具がある場合などに参考にしてください。



新しいエアコンで風当たり防止機能が備わったタイプ（大型のルーバーがついているものやルーバーが真下方向に下がってくるタイプ）は、エアコンのルーバーとアシストルーバーが接触して取り付けられない場合があります。上図を参考に寸法をご確認ください。

また壁から大きく張り出したタイプの壁掛エアコンの場合、アシストルーバーの効果が得られない場合があります。壁掛エアコンでは、目安としてエアコンの奥行きが概ね 20cm までの機種に対応します。

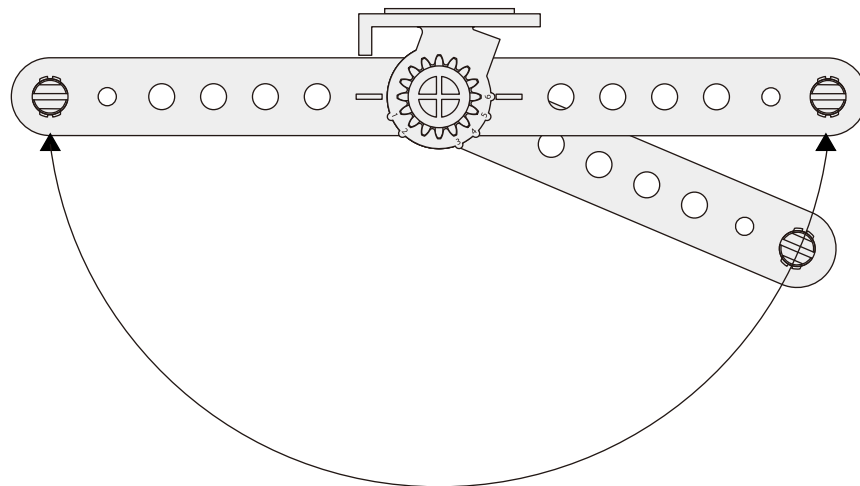
ルーバー断面の寸法図



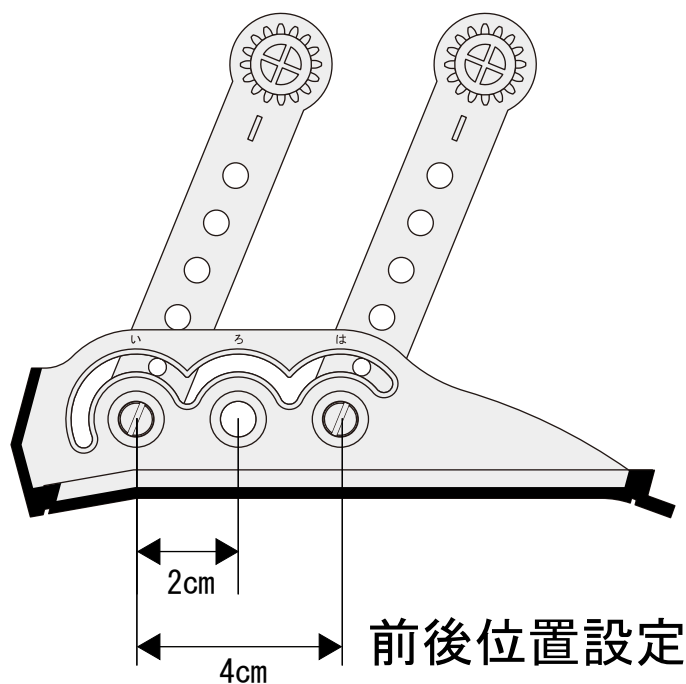
ルーバー可動範囲図（断面図）

アシスト・ルーバーは広い可動範囲と前後位置設定により、様々なタイプのアエアコンに適合し、最適な羽根位置に配置することができます。また前後位置設定によりすっきりした羽根サイズが可能となりました。固定ベース側は段階式のため、羽根下がりや歪みがなくきれいに取り付けることができます。

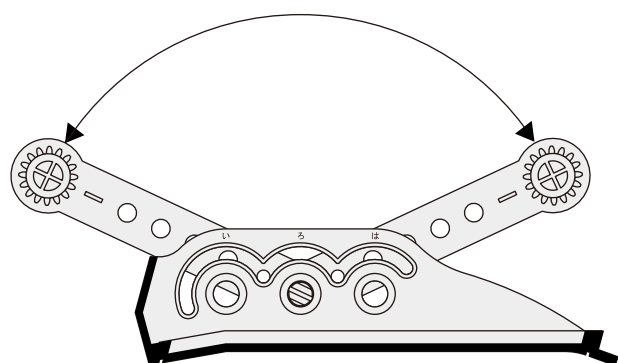
固定ベース側 180°（9段階）



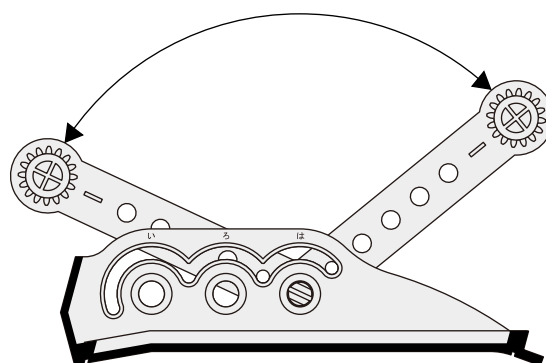
ルーバー側



い 150°（無段階）



ろ 130°（無段階）



は 120°（無段階）